



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 ボーソー油脂株式会社

コード番号 2608 URL <http://www.boso.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片岡 治男

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長兼企画経理部長 (氏名) 川崎 薫

TEL 047-433-5552

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	8,699	△7.3	110	—	105	—	48	—
28年3月期第2四半期	9,383	△2.7	△107	—	△101	—	△62	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 39百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 △74百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
29年3月期第2四半期	3.16	—
28年3月期第2四半期	△3.94	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
29年3月期第2四半期	10,239	4,082	39.8	270.90
28年3月期	10,684	4,225	39.5	267.65

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 4,079百万円 28年3月期 4,222百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
28年3月期	—	—	—	5.00	5.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	18,000	△6.7	190	233.3	190	280.0	100	566.7	6.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	16,060,000 株	28年3月期	16,060,000 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	999,198 株	28年3月期	284,452 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	15,498,192 株	28年3月期2Q	15,777,156 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を終了しており、11月9日付の四半期レビュー報告書を受領しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる場合があります。なお、業績予想の前提となる仮定その他の条件については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態の分析 .....	2
(3) キャッシュ・フローの状況 .....	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策等を背景に、雇用環境の改善等はみられるものの、新興国・資源国経済の減速、英国のEU離脱問題等の影響など欧米経済の下振れ懸念もあり、国内景気も先行き不透明な状況下で推移いたしました。

植物油業界におきましては、国際穀物需給や為替動向などから、輸入原料価格に一定の改善はみられたものの、ミール価格の下落や販売競争の激化など、引き続き、厳しい環境におかれています。

当グループは、こうした環境の中、こめ油が家庭用食用油としての認知度の高まりから、引き続き、販売数量は増加基調にあり、家庭用食用油の販売は堅調に推移しました。一方、業務用食用油は、市場競争が激しさを増す中、きめ細やかな販売活動に努め、一定の採算を確保いたしました。また、油粕製品につきましては、生産に合わせた適正数量の販売を実施いたしました。

なお、売上高につきましては、家庭用食用油は、販売数量が増加し、業務用食用油は、採算改善を優先した営業に努めたことにより、販売数量が減少したことから、食用油全体の売上高は減少いたしました。油粕製品は、食用油の販売数量の減少と価格の低下から、売上高は減少いたしました。

収益面につきましては、家庭用食用油の販売数量増加に加え、業務用食用油の採算改善により、食用油全体で増益となりました。また、グループ全体の運営体制の効率化にも着手し、グループ全体の収益改善に努めております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の営業成績は、売上高86億99百万円（前年同四半期は93億83百万円）、営業利益1億10百万円（前年同四半期は営業損失1億7百万円）、経常利益1億5百万円（前年同四半期は経常損失1億1百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益48百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失62百万円）となりました。

### (2) 財政状態の分析

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は63億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億88百万円減少いたしました。主な減少の要因は、受取手形及び売掛金が4億14百万円減少したことによるものであります。固定資産は39億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ56百万円減少いたしました。主な減少の要因は、有形固定資産が64百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、102億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億44百万円減少いたしました。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は45億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億14百万円減少いたしました。主な減少の要因は、支払手形及び買掛金が1億89百万円の減少、短期借入金が85百万円の減少によるものであります。固定負債は15億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ12百万円増加いたしました。主な増加の要因は、退職給付に係る負債の17百万円増加によるものであります。

この結果、負債合計は、61億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億2百万円減少いたしました。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は40億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億42百万円減少いたしました。主な増加の要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を48百万円計上、主な減少の要因は、自己株式が1億3百万円増加、その他有価証券評価差額金8百万円減少、配当金の支払78百万円であります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、期首残高より9百万円増加しましたので、11億29百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動の結果獲得した資金は4億49百万円(前年同四半期は3億32百万円の使用)となりました。主な増加の理由は、税金等調整前四半期純利益1億5百万円、減価償却費1億68百万円、売上債権の減少額4億14百万円、主な減少の理由は、仕入債務の減少額1億89百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は1億70百万円(前年同四半期は1億8百万円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動の結果使用した資金は2億69百万円(前年同四半期は1億35百万円の使用)となりました。これは主に自己株式の取得による支出及び配当金の支払いによるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月12日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,179,131	1,183,395
受取手形及び売掛金	3,677,797	3,263,412
商品及び製品	597,693	586,843
仕掛品	438,890	341,584
原材料及び貯蔵品	686,288	835,245
その他	147,029	127,467
貸倒引当金	△4,216	△3,667
流動資産合計	6,722,615	6,334,280
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	549,872	530,175
機械装置及び運搬具（純額）	1,121,983	1,064,713
土地	1,550,083	1,550,083
その他（純額）	25,889	27,169
建設仮勘定	12,120	23,278
有形固定資産合計	3,259,950	3,195,420
無形固定資産	37,331	41,171
投資その他の資産		
投資有価証券	216,579	205,038
その他	447,813	463,633
投資その他の資産合計	664,393	668,672
固定資産合計	3,961,675	3,905,264
資産合計	10,684,290	10,239,545

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,850,360	2,661,081
短期借入金	1,439,850	1,354,600
未払法人税等	13,711	54,176
賞与引当金	90,713	96,656
その他	518,463	431,717
流動負債合計	4,913,099	4,598,232
固定負債		
長期借入金	728,550	728,200
退職給付に係る負債	563,495	581,190
役員退職慰労引当金	50,559	44,829
その他	203,166	204,414
固定負債合計	1,545,771	1,558,633
負債合計	6,458,870	6,156,866
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,351,300	1,351,300
資本剰余金	814,596	814,596
利益剰余金	2,018,954	1,989,064
自己株式	△50,241	△153,876
株主資本合計	4,134,610	4,001,084
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	87,697	78,823
その他の包括利益累計額合計	87,697	78,823
非支配株主持分	3,112	2,771
純資産合計	4,225,419	4,082,679
負債純資産合計	10,684,290	10,239,545



（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）
売上高	9,383,140	8,699,757
売上原価	8,481,849	7,573,418
売上総利益	901,291	1,126,339
販売費及び一般管理費	1,008,937	1,016,245
営業利益又は営業損失（△）	△107,645	110,093
営業外収益		
受取利息	143	78
受取配当金	5,297	4,601
負ののれん償却額	1,076	-
受取手数料	955	1,325
受取補償金	408	-
受取保険金	17,936	7,414
その他	3,272	5,577
営業外収益合計	29,089	18,996
営業外費用		
支払利息	20,573	20,434
支払手数料	2,170	2,170
その他	652	1,191
営業外費用合計	23,396	23,796
経常利益又は経常損失（△）	△101,952	105,293
特別利益		
投資有価証券売却益	2,482	-
固定資産売却益	119	-
特別利益合計	2,602	-
特別損失		
固定資産除却損	1,054	0
特別損失合計	1,054	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△100,404	105,293
法人税、住民税及び事業税	4,612	42,727
法人税等調整額	△43,561	13,919
法人税等合計	△38,949	56,646
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△61,454	48,646
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	636	△341
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△62,091	48,987

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△61,454	48,646
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,359	△8,874
その他の包括利益合計	△13,359	△8,874
四半期包括利益	△74,814	39,772
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△75,451	40,113
非支配株主に係る四半期包括利益	636	△341

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△100,404	105,293
減価償却費	176,433	168,720
負ののれん償却額	△1,076	-
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△7,357	17,695
賞与引当金の増減額（△は減少）	△1,840	5,942
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△26,891	△5,729
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△46	△549
受取利息及び受取配当金	△5,440	△4,679
受取保険金	△17,936	△7,414
支払利息	20,573	20,434
固定資産除却損	1,054	0
固定資産売却損益（△は益）	△119	-
投資有価証券売却損益（△は益）	△2,482	-
売上債権の増減額（△は増加）	168,028	414,385
たな卸資産の増減額（△は増加）	△641,299	△40,800
仕入債務の増減額（△は減少）	199,176	△189,278
未払消費税等の増減額（△は減少）	△36,190	21,050
未払費用の増減額（△は減少）	△8,732	△11,176
その他	△42,475	△27,356
小計	△327,026	466,537
利息及び配当金の受取額	5,440	4,679
保険金の受取額	17,936	7,414
利息の支払額	△20,692	△20,742
法人税等の支払額	△7,991	△8,480
営業活動によるキャッシュ・フロー	△332,333	449,407
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△61,060	△52,460
定期預金の払戻による収入	61,060	57,460
投資有価証券の取得による支出	△912	△958
有形固定資産の取得による支出	△103,444	△164,663
無形固定資産の取得による支出	-	△5,560
投資有価証券の売却による収入	2,482	-
有形固定資産の売却による収入	120	-
その他	△6,444	△4,451
投資活動によるキャッシュ・フロー	△108,199	△170,634
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	761,000	1,465,000
短期借入金の返済による支出	△765,000	△1,554,000
長期借入れによる収入	152,000	191,000
長期借入金の返済による支出	△202,300	△187,600
自己株式の取得による支出	-	△103,635
配当金の支払額	△78,311	△78,651
その他	△2,499	△1,622
財務活動によるキャッシュ・フロー	△135,110	△269,510
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△575,642	9,263
現金及び現金同等物の期首残高	1,740,789	1,120,671
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,165,146	1,129,935

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)  
全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める油脂部門及びその副産物である油粕部門の製造及び販売事業の割合が、いずれも90%を超えているため、セグメント情報の記載を省略しております。
  
- II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)  
全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める油脂部門及びその副産物である油粕部門の製造及び販売事業の割合が、いずれも90%を超えているため、セグメント情報の記載を省略しております。